



～ 笑顔の絶えない生徒全員がハッピーになれる学校 ～



日新日日新



NO. 4 【7/15】
令和 8 年度
学校だより
桃山中学校
TEL: 21-9141
文責: 校長



【学校教育目標】 ふるさとを愛し、夢の実現に向けて自ら学び続ける生徒の育成をめざして

「リーダーシップとは何か？」 ～ 現在のリーダー論 ～



先日ある研修の中で「リーダーシップとは何か？」というお題が与えられ、グループで熱心に協議しました。「リーダーシップとは成果を出すことである。」という意見や「昔のようにトップダウンではなく、組織の意見をまとめボトムアップでチーム力を高めることがリーダーだ。」という意見もありました。それぞれになるほどと思うのですが、理想の上司像も時代とともに変化するものなのかも知れません。しかし、私はリーダーシップを不易なものとして考えた時、やはり「正しいことをやる」「やるべきことをやる」ことが基本なのではないかと思えます。以前、日本で起こった米価格騒動では、小泉コメ担当大臣がスピード感をもって低価格のコメを市場に放出しました。このことに関しても、一筋縄ではいかなかったことが予想されますが、小泉担当のミッションは、物価高で困っている人々に、「米を安く、早く届けること」こそが「正しいこと・やるべきこと」であり、その賛否両論のあった中でのスピーディーな行動は、勇気あるシンプルなリーダーシップだったと記憶しています。

私の知っているエピソードを1つご紹介します。ソニー創業者の井深大さんの社長時代の話です。当時神奈川に最新鋭の工場ができ、大勢の見学者が来ました。そこで問題になったのがいつまでも消えないトイレの落書きだったそうです。会社の恥だからと工場長に指示しましたが、一向になくなりません。それでしばらくすると工場長から「落書きがなくなりました。」と連絡がありました。理由を聞くと、パートに来ているトイレ掃除の方が「落書きはしないでください。ここは私の神聖な職場です。」と、かまぼこ板に一言だけ書いて貼ってあったそうです。井深さんはこのように振り返っています。「この件では、私はリーダーシップをとれませんでした。パートのお婆さんに負けました。リーダーシップとは上から下への指導力・統率力だと思っていたが、間違いでした。本当のリーダーシップとは人を動かす影響力をもった人なのだと思います。この件においては、あのお婆さんこそがリーダーでした。」

生徒も将来に向けてリーダー像をもち、社会に貢献し、自分の人生を切り拓いていくことでしょう。私も学校を預かるリーダーとして、真摯に人間力を高めてまいりたいと思います。

さて、今週をもって1学期が終了します。生徒は日頃の当たり前を疎かにせず、元気に過ごしました。それぞれのご家庭でもお子様とよく会話をされながら、1学期の頑張りを褒めて頂けると幸いです。生徒も夏休みを有意義に過ごし、2学期のさらなる成長に期待します。最後に1学期の本校の教育活動にご協力頂いた保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。 【校長 糸本 康浩】



【7/7掲載：探究学習】 宇部日報新聞より



学校行事、学校の様子はHPをどうぞご覧ください！

<https://www.ube-ygc.ed.jp/myj/>

